



## 平成27年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホテル、ニューグランド  
コード番号 9720 URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 賢治  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 岸 晴記

TEL 045-681-1841

四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年11月期第3四半期の業績(平成26年12月1日～平成27年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第3四半期	3,871	9.3	△102	—	△103	—	△35	—
26年11月期第3四半期	3,541	△12.9	△178	—	△176	—	△127	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第3四半期	△30.66	—
26年11月期第3四半期	△109.83	—

(注)平成27年6月1日付で、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年11月期第3四半期	12,227	7,929	64.8	6,830.77
26年11月期	12,361	7,931	64.2	6,831.83

(参考)自己資本 27年11月期第3四半期 7,929百万円 26年11月期 7,931百万円

(注)平成27年6月1日付で、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年11月期	—	0.00	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成27年6月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成27年11月期(予想)の1株当たり配当金につきましては、株式併合後の金額を記載しております。

### 3. 平成27年11月期の業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	7.8	45	—	40	—	75	—	64.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成27年11月期の業績予想における通期の1株当たり当期純利益につきましては、株式併合後の金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年11月期3Q	1,171,280 株	26年11月期	1,171,280 株
② 期末自己株式数	27年11月期3Q	10,474 株	26年11月期	10,267 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年11月期3Q	1,160,903 株	26年11月期3Q	1,161,307 株

(注)平成27年6月1日付で、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の業績予想及び配当について)

当社は、平成27年1月23日開催の取締役会において、平成27年2月26日開催の第137回定時株主総会に、株式併合(5株を1株に併合)、単元株式の変更(1,000株から100株に変更)及び発行可能株式総数の変更(23,000千株から4,600千株に変更)に係る議案を付議することを決議し、同株主総会において承認可決されました。

なお、株式併合考慮前に換算した平成27年11月期の業績予想及び配当予想は以下のとおりとなります。

- 1.平成27年11月期の業績予想  
 1株当たり当期純利益  
 通期 12円92銭
- 2.平成27年11月期の配当予想  
 1株当たり配当金  
 期末 5円00銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、円安や株高が継続し、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな景気回復の兆しが見えてきたものの、円安による物価上昇や新興国経済の下振れなど、先行きは未だ不透明な状況であります。

当社は前第3四半期会計期間において、重要な経営資源である本館の大規模改修工事(第一期)を実施いたしました。工事期間中、本館5階京料理「熊魚庵たん熊北店」、本館5階宴会場「スターライトルーム」及び本館3、4階の客室(48室)の営業を休止し、本館2階宴会場「フェニックスルーム」及び「レインボーボールルーム」につきましても、原則として土曜日を除く毎日8時から18時の間の営業を休止しておりました。

このような状況のもと、当第3四半期累計期間の売上高は、3,871,815千円(前年同四半期比9.3%増)となりました。

販売費及び一般管理費は2,754,746千円(前年同四半期比5.0%増)となり、営業損失は102,690千円(前年同四半期比75,458千円損失減)、経常損失は103,628千円(前年同四半期比72,862千円損失減)となりました。

また、当第3四半期累計期間の四半期純損失は、35,591千円(前年同四半期比91,956千円損失減)となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会(婚礼)需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### (ホテル事業)

ホテル事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高3,828,186千円(前年同四半期比9.5%増)、営業損失125,901千円(前年同四半期比77,943千円損失減)となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門986,116千円(前年同四半期比21.1%増)、レストラン部門1,079,146千円(前年同四半期比12.9%増)、宴会部門1,443,868千円(前年同四半期比1.6%増)となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高43,628千円(前年同四半期比5.9%減)、営業利益23,210千円(前年同四半期比9.7%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

資産合計は12,227,246千円(前事業年度末比134,407千円減)となりました。

主な要因は現金及び預金535,517千円の増加や、未収還付法人税等52,908千円の減少、未収還付消費税等68,413千円の減少、有形固定資産522,189千円の減少などです。

#### (負債)

負債合計は4,298,051千円(前事業年度末比131,764千円減)となりました。

主な要因は買掛金122,069千円の減少や、未払賞与45,600千円の減少、退職給付引当金70,868千円の増加などです。

#### (純資産)

純資産合計は7,929,194千円(前事業年度末比2,643千円減)となりました。

主な要因は利益剰余金64,616千円の減少や、その他有価証券評価差額金6,698千円の増加、土地再評価差額金55,999千円の増加などです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年7月7日に公表しました「平成27年11月期 第2四半期決算短信[日本基準](非連結)」を据え置いておりますが、平成27年11月期第3四半期以降の動向を精査し、確定次第速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,660,977	2,196,495
売掛金	286,987	250,870
原材料及び貯蔵品	80,692	81,581
繰延税金資産	130,933	68,647
未収還付法人税等	52,908	-
未収還付消費税等	68,413	-
その他	39,705	30,605
貸倒引当金	△860	△750
流動資産合計	2,319,759	2,627,450
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,552,110	9,400,788
減価償却累計額	△3,857,698	△3,996,897
建物(純額)	5,694,411	5,403,890
土地	2,972,803	2,972,803
その他	7,181,888	7,062,123
減価償却累計額	△6,128,242	△6,240,146
その他(純額)	1,053,646	821,976
建設仮勘定	58,472	58,472
有形固定資産合計	9,779,332	9,257,142
無形固定資産	59,986	58,196
投資その他の資産	202,576	284,455
固定資産合計	10,041,895	9,599,795
資産合計	12,361,654	12,227,246
負債の部		
流動負債		
買掛金	438,186	316,116
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	-	28,700
未払賞与	116,800	71,200
前受金	150,782	164,029
ポイント引当金	2,378	2,359
その他	377,014	353,933
流動負債合計	1,385,162	1,236,339
固定負債		
長期借入金	1,200,000	1,200,000
再評価に係る繰延税金負債	586,351	530,351
退職給付引当金	817,986	888,854
役員退職慰労引当金	152,449	154,637
その他	287,868	287,868
固定負債合計	3,044,654	3,061,712
負債合計	4,429,816	4,298,051

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	607,748	543,131
自己株式	△25,296	△26,020
株主資本合計	7,400,462	7,335,121
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16,924	23,622
土地再評価差額金	514,451	570,450
評価・換算差額等合計	531,375	594,073
純資産合計	7,931,837	7,929,194
負債純資産合計	12,361,654	12,227,246

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
売上高	3,541,578	3,871,815
売上原価	1,094,914	1,219,759
売上総利益	2,446,664	2,652,056
販売費及び一般管理費	2,624,813	2,754,746
営業損失(△)	△178,148	△102,690
営業外収益		
受取利息	162	237
受取配当金	1,651	1,771
その他	494	2,129
営業外収益合計	2,308	4,139
営業外費用		
支払利息	521	4,721
その他	129	355
営業外費用合計	650	5,077
経常損失(△)	△176,491	△103,628
特別利益		
補助金収入	-	76,446
特別利益合計	-	76,446
特別損失		
固定資産除却損	5,188	0
特別損失合計	5,188	0
税引前四半期純損失(△)	△181,679	△27,182
法人税、住民税及び事業税	3,104	24,382
法人税等調整額	△57,236	△15,973
法人税等合計	△54,132	8,409
四半期純損失(△)	△127,547	△35,591



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期累計期間(自平成25年12月1日至平成26年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,495,226	46,352	3,541,578	-	3,541,578
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,495,226	46,352	3,541,578	-	3,541,578
セグメント利益又は損失(△)	△203,844	25,695	△178,148	-	△178,148

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第3四半期累計期間(自平成26年12月1日至平成27年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,828,186	43,628	3,871,815	-	3,871,815
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,828,186	43,628	3,871,815	-	3,871,815
セグメント利益又は損失(△)	△125,901	23,210	△102,690	-	△102,690

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。